

民間提案型普及・実証事業
野菜果物の通年生産を可能とする水耕栽培技術の普及・実証事業

企業・サイト概要

- 提案企業： 株式会社GRA
- 提案企業所在地： 宮城県亘理郡
- サイト： インド国マハラシュトラ州
- 相手国実施機関： マハラシュトラ州農業省
- 事業実施期間： 2014年2月～2016年6月

●●● インド国の開発課題 ●●●

【農村部の貧困削減】

- インドの貧困者数3億人中、70%以上が農村部に分布しており、インド政府は貧困削減を国家開発の最重要課題として位置付けている。

【高付加価値作物の生産拡大】

- 農村部の貧困層は土壌や栽培品質が低いことから、品質の良い作物を安定して精算することができず、満足な収入が得られない状況にある。そのため、付加価値の高い野菜や果物の生産拡大が求められている。

合致

●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

【循環型水冷装置を利用した太陽光利用密閉型グリーンハウス】

- 熱帯地域での果物栽培を可能とする3つの特徴
- 水を循環させ、ハウス内の温度を一定に保つ冷却技術
- ハウス内の気流をルーバー（羽板）でコントロールする高冷却技術
- 必要な紫外線を遮断せず熱をカットする新素材

【イチゴ品種「GRA-03」】

- 高温適応型で糖度・香り等の優れた品種

提案企業の準備状況

- JICAのBOPビジネス連携促進調査において2012年7月～2014年3月にF/S調査を実施し、インド・マハラシュトラ州プネ近郊にグリーンハウスを設置し同社のイチゴ品種を用いた栽培が可能であることを実証した。

民間提案型普及・実証事業の内容（JICA事業）

- グリーンハウス設備の生産実証（グリーンハウス2棟（20a=2000㎡）を設置しイチゴ栽培を三周期実施する）
- 各農村から選抜した農民へ環境教育センターにて栽培研修の実施
- 収穫したイチゴを集荷・パッキングし、輸送方法・販売モデルを検討

ビジネス展開

- 20aに追加して、140aのグリーンハウスを設置し、イチゴ栽培実施
- 他の農村地域への水耕栽培技術及びグリーンハウス展開
- インド市場への日本のイチゴの普及

